

第8回 苫小牧市スポーツ推進審議会結果報告書

【日時】 平成29年4月26日（水）18時～19時20分

【場所】 市役所本庁舎5階第2応接室

【出席】

▽苫小牧市スポーツ推進審議会委員 9名（12名中）

池田委員、大神田委員、大村委員、大山委員、島崎委員、田崎委員、
長岡委員、本間委員、増田委員

▼事務局（市）

福原総合政策部長

スポーツ推進室：澤田室長、神保主幹、伊藤主査、木村主査、佐藤隼主事、
戸澤主事、林川主事、浦主事、佐藤恵主事

～～～議事内容（審議経過・意見・質問等）～～～

1 開会（会長選出まで澤田室長の進行）

2 委嘱状交付

岩倉市長から9名の委員に委嘱状交付

3 市長挨拶

4 委員及び職員自己紹介

5 会長・副会長の選出

田崎会長、本間副会長を選出

6 議事

※ 以下の質疑・意見については、▽は委員発言、▼は事務局発言。

(1) 苫小牧市スポーツ推進審議会経過について（※事務局から説明）

- 経過説明（別添資料1ページ参照）

【質疑・意見】

▽田崎会長

スポーツ推進計画の発行数は。

▼事務局

500部発行している。

(2) 平成28年度スポーツ施策実施報告及び平成29年度スポーツ施策について（※事務局から説明）

- 推進計画に掲載している施策の平成28年度の実施状況と平成29年度の開催予定を説明（別添資料2～5ページ参照）

【質疑・意見】

▽本間委員

スポーツ教室を行う場合は対象年齢やと参加者数を制限した方が参加者のレベルを合わせた近い距離での指導ができる。

▽大神田委員

子どもはスポーツが楽しくてどんどん参加していくので、きっかけづくりとしての事業が行いやすいが、大人は参加するのに勇気があるので難しい。計画では対象者が限られる事業が多いので、より参加しやすく対象が明確にできるような展開をすれば幅広い参加者を増やせる。

▽増田委員

昨年度は大相撲やフットサル等を実施したが、見に来る市民が応援の仕方がわからないように感じた。プロスポーツは応援も大事な要素でフィールドと客席の一体感が求められる。苫小牧市民はプロスポーツに触れる機会が少なく、どう応援をしたらいいかわからないので、アメリカのボールパークのような応援を地域内で計画できれば、見る人にも優しい、見ていて面白いスポーツが提案できる。

▽池田委員

スポーツに限らず、昔から応援が静かな土地柄であるが、最近ではアイスホッケーアジアリーグでの応援等、新たな応援スタイルが出ている。地域色を生かした応援で盛り上がっていきたいと思う。

▽大山委員

スポーツ都市宣言の趣旨はスポーツを通してまちづくりを行うことにあると考えている。高齢化が進んできている本市でも若い人の意見を取り入れるのがとても大事であり、子どもの発想がまちづくりに生かされた「子ども議会ウォーキング事業」は新しい取り組みとして評価できる。

(3) 「つなごう スポーツ大作戦」苫小牧市スポーツ都市宣言50周年記念事業の実施報告について（※事務局から説明）

● 117事業（90,674人）を開催

- ・ 記念事業 18事業
- ・ ふくし大作戦との共催事業 4事業
- ・ 共催事業 5事業
- ・ 他団体主管との共催事業 8事業
- ・ 既存事業 8事業
- ・ その他の関連事業 5事業
- ・ 後援（冠）事業 65事業

● 地元出身選手等の活躍

- ・ 丹羽孝希選手（卓球）のリオ五輪銀メダル獲得
- ・ 女子アイスホッケー日本代表のピョンチャン五輪出場権獲得
- ・ 王子イーグルス（アイスホッケー）の全日本選手権優勝
- ・ 帰山麻衣選手（スピードスケート）冬季アジア大会銅メダル獲得

【質疑・意見】

▽島崎委員

好評だった「つなごう市民大運動会」は継続して実施はしないのか。

▼事務局

平成30年度は予算化し、実施していきたいと考えている。

▽大村委員

スポーツ庁ができたことで、障害者スポーツの垣根が解消されてきている。7月7日に開催される「北海道障がい者スポーツ大会」の上位大会である「全国障がい者スポーツ大会」はオリ・パラのように国体と同じ会場で行われる。

▽長岡委員

昨年度50周年事業の手伝いを行ったが、ボッチャ教室とフライングディスク教室等の障害スポーツや「つなごう市民大運動会」は障害の有無や年齢に関係なく楽しめる貴重なイベントだったと思う。

▽大神田委員

多くの事業を行うのも良いが、中心となるイベントが一つあると他の事業のPRの場としても生かすことができる。

(4) 今後のスケジュールについて（※事務局から説明）

- 次回開催は11月上旬予定（10月に案内送付）

(5) 「苫小牧市スポーツ施策についての意見書」について（※事務局から説明）

- 次年度予算計上に間に合うように提出

7 その他

▽田崎会長

推進計画施策一覧のスポーツ指導者の育成についてのみ事業評価C（やや遅れている）となっているのはなぜか。また、今年度以降どのような改善を考えているのか。

▼事務局

苫小牧市体育協会が実施しているスポーツリーダーバンク制度の派遣実績が年数回しかなく、指導者養成講習も実施できなかったためである。現在は指導者資格の取得者向けの講習だけではなく、競技力の向上を対象とした、参加しやすいような講習を考えている。

8 閉会